

近畿地方会ニュース

発行所 日本産業衛生学会近畿地方会事務局
 〒545 大阪市阿倍野区旭町1-4-54
 大阪市立大学医学部環境衛生学教室内
 TEL 06-645-2056

発行責任者 堀 口 俊 一

あけましておめでとうございます

地方会長 三 浦 武 夫

謹 賀 新 年

今年は馬の年、荒馬なのか、可愛いポニーなのか？ 昨年中国や東欧のはげしい「歴史の地殻変動」、は地球上のすべての国々にどんな影響をもたらすのか今年は大変興味のあるところです。わが国でも労働衛生の分野で、改正労働安全衛生法が健康診断の改正を最後に完全施行されました。中でも改正の柱とされる「労働者の健康の保持増進措置」がどのように事業者と労働者に理解され、うけいれられて定着するのかどうか、これも大変興味のあるところです。



近頃日本とアメリカの間で経済摩擦をきっかけとして「構造論議」が大変盛りになっているが、これをつきすすめてゆくと日本人の「意識構造」が問題となり労働衛生分野にも大きな影響を及ぼすのではなからうか？

— 1990年・元旦の初夢 —

☆平成2(1990)年度第30回近畿産業衛生学会の学会長・原一郎関西医大教授に決まる。

☆第64回 日本産業衛生学会 第50回 日本産業医協議会 大阪で開催

平成3(1991)年3月29日から4月1日まで 於：大阪国際交流センター

去る11月11日の近畿産業衛生学会当日に開催された評議員会で第64回日本産業衛生学会第50回産業医協議会の企画運営委員のメンバーが承認されました。
 企画運営委員長(学会長)：堀口俊一、地方会長：三浦武夫、副委員長：原一郎、原田章、藤木幸雄、委員：阿部源三郎、池田正之、上田美代子、圓藤吟史、菰池義彦、木村真次、住野公昭、武田真太郎、田中健一、徳永力雄、原田七寛(辞退)、久成正生、福原一彦、藤井久和、船岡恵美

子、水野洋、森本兼曩、山下節義、吉田康久、渡部眞也の各先生方です。

地方会の会員の先生方から日本産業衛生学会、産業医協議会の特別研修会のテーマ、特別講演やシンポジウム等のテーマ、その他についてのご要望、ご提案をお願いいたします。送り先は近畿地方会事務局(題字の横参照)、締切は平成2年2月末日とさせていただきます。

企画運営委員長 堀 口 俊 一

〈研究会のお知らせ〉

産業衛生技術研究会

日 時：平成2年1月16日(火) 14:00～
 場 所：大阪労働衛生総合センター
 講 演：1. 特殊健診の改訂に関連して
 2. 健康づくり
 連 絡 先：大阪府立公衆衛生研究所 田 淵 武 夫

腰痛研究会

日 時：平成2年1月20日(土) 14:00～17:00 (注：開催日変更)
 場 所：関西医科大学1号館「セミナールーム A」
 演 題：1. 文献研究小委員会報告および討論
 2. 一般演題：調査研究報告、事例紹介、検診結果など。
 連 絡 先：〒570 守口市文園町1 関西医大衛生学教室
 ☎ 06-992-1001 (内線2500)

じん肺研究会

日 時：平成2年3月3日(土) 14:00～17:00
 場 所：大阪薬業年金会館
 特別講演：「横須賀地区の石綿関連疾患」
 報 告：「最近のイギリスの労働衛生事情について」
 じん肺研究会世話人 横 山 邦 彦

産業看護研究会

日 時：平成2年3月17日(土) 14:00～
 場 所：大阪弥生会館(大阪駅北口から徒歩5分)
 〒530 大阪市北区芝田2-4-53
 テ ー マ：産業看護の定義・産業看護職の役割について
 一日常業務に立脚して今後の活動を考える一
 世話人代表：上田 美代子
 (大阪府立成人病センター集I)

〈産衛学会からのお知らせ〉

第63回 日本産業衛生学会
第48回 日本産業医協議会

産衛学会・産医協企画運営委員会 会長・三浦 創

日 時：平成2年4月3日(火)・4日(水)・5日(木)・6日(金)

場 所：熊本市市民会館ほか

連絡先：〒860 熊本市本荘2丁目2番1号

熊本大学医学部衛生学教室内

第63回日本産業衛生学会・第48回日本産業医協議会企画運営委員会事務局

☎ 096-344-2111 内線6333, 6332

〈関連学会等のご案内〉

第60回 日本衛生学会総会

学会長 石 西 伸

日 時：平成2年3月31日(土)～4月2日(月)

連絡先：〒812 福岡市東区馬出3-1-1

九州大学医学部衛生学講座内

第60回日本衛生学会総会事務局

☎ 092-641-1151 (内線 3361-3363)

(郵便振替 福岡 2-57323)

近畿産業衛生学会を顧みて

堀 口 俊 一

近畿産業衛生学会は日本産業衛生学会近畿地方会が毎年1回、近畿各府県の廻り持ちで開かれる学会である。第1回学会は昭和38年(1963)11月に当時東レ滋賀工場病院長・小沢邦香博士が学会長として主催され、以来今回で第29回となった。毎年1回とすると今回は第27回になる計算であるが、途中、昭和47年(1972)には1月と10月、昭和49年(1974)には1月と11月に行われたので、このようになる。また、当初は近畿産業医学会の名称であったが、第11回昭和47年(1972)から近畿産業衛生学会となった。これまでの開催地は滋賀、兵庫、和歌山、京都、大阪が各5回、奈良が4回でほぼ均等に持ち廻られている。なお、近畿産業衛生学会の前身として昭和24年(1949)12月に第1回の近畿労働衛生研究会、その後昭和28年(1953)11月に近畿地方会第1回集談会があって、これらは現在の学会に継承されている。

さて、京都で学会が持たれたのは、第4回昭和41年(1966)11月(学会長・西尾雅七教授)、第9回昭和46年(1971)8月(同前)、第15回昭和50年(1975)12月(佐野晴洋教授)、第22回昭和57年(1982)10月(小川捨雄博士)と今回の5回である。

今回の第29回学会は細川汀京都府大教授を学会長として、閑静な京都府大で開かれた。これまでになく盛会で、発表演題数は35題にのぼり、午後は2会場に分かれて行われたことは前例がなかったと記憶する。11時から細川学会長から「労働者のための労働衛生—私の経験から—」と題する特別講演がなされ、まさに細川先生の歩まれた足跡をまとめられたもので、大阪市の衛生研究所(現環境科学研究所)以来今日まで、先生の実践的な研究活動を拝見している私にとって教えられるところが大きかった。昼食時の評議員会では、三浦地方会長の挨拶、原一郎教授から産衛60周年記念事業として地方会の歴史をまとめたものを作成することを、堀口から再来年の日本産業衛生学会総会が大阪で行われること、これにともなう企画運営委員の委嘱のこと、その他本部の動き、役員選挙結果などの報告があり、来年度の近畿産業衛生学会学会長に原一郎教授(関西医大公衆衛生)が承認された。5時半から行われた懇親会では和気あいあいのうちに会員の親睦がなされ、楽しい気分で北大路駅へ帰路に着いた。



三浦地方会長「あいさつ」



細川学会長「特別講演」 座長 原 一郎 教授

事務局から

寒さが厳しくなって参りました。会員の皆様には御健勝のことと存じます。

第2号地方会ニュースをお届け致します。地方会およびニュースに関するご意見ご希望をお寄せ下さい。事務局の仕事は教育、研究の合間にしております。おそれいりますが地方会事務局へのご連絡はなるべく文書でお願いします。